

1 【活動の趣旨】

学校と地域・家庭が連携して子どもたちの学びをより豊かなものにするとともに、地域の人や文化や産業に触れることで、その良さを知り、伝えられる子どもたちの育成とその仕組みづくりを目指す。

2 【特徴的な活動内容】

○「1, 2年書道教室」
草津市ゆうゆうびとバンクの講師の方とともに書写の授業を実施し、交流を図った。



【1, 2年書道教室】

○「音楽教室」
9月に校区内の合唱サークルで活動されている先生や地元の大学生を講師に招いて、合唱コンクールに向けて指導とアドバイスをいただいた。



【音楽教室】

○「地域行事への参加・ボランティア活動」
吹奏楽部の各種地域行事(敬老会)への参加。また、福祉委員会の「ハンド・イン・ハンド」草津駅前での募金活動や、美化委員による「クリーン作戦」(中学校から駅までの通学路を中心にゴミ拾い)の実施。

○「福祉体験」
1年生では高齢者や障がい者の方々との共生について考えるきっかけとして、地域の方々とより良い関係を築き、自分の生き方を見つめなおすことを目的として、講演会実施や車いす体験、アイマスク体験をし、また認知症サポーター養成講座を行った。



【地域行事への参加】

3 【実施に当たっての工夫】

講師の先生方となるべく早くから打ち合わせを実施したり、事前にワークショップ等を組み入れた授業を行うことで意欲的に参加できるようにした。

4 【事業の成果】

体験することで、自分たちに何ができるかをより一層身近に考えることができ、自分たちの生活は、たくさんの人の支えがあって成り立っていることなどがわかり、また今後の学習に生かしていこうとする態度が養われた。



【福祉体験】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

事業内容によっては、予定していた内容の半分程度しか実施できず、講師をどのように確保していくかが課題である。また、新規事業実施や既存事業の拡大を目指したいが、通常授業の確保や働き方改革との折り合いもあり難しい。